

# 日本への花見旅行人気から見る中国人のニーズ

これまで3月は中国旅行業界の閑散期でした。2月ごろの旧正月連休と4月の三連休に挟まれた3月は、ようやく中国の新年があげた頃で、連休もない月だからです。ところが、今年3月は上海浦東空港の海外旅行比約3割増、訪日客数は約87%も増えました。

これは明らかに花見人気の影響で、4月中旬まで航空券やホテルの予約難や価格高騰が続きました。花見時期に京都に出張した筆者の知人曰く、「京都の祇園が上海の南京東路(観光客で賑わう歩行者天国)になっていた…」と言っていたほどです。

この花見人気で最近では東京・大阪・京都などの有名花見スポットが混雑しているため、旅行会社は地方都市の花見スポット探しに積極的だそうです。ますます地方にも訪日中国人観光客誘致のチャンスが広がっています。広島であれば、桜だけではなく瀬戸内海の美しい風景や日本らしい建築や町並びも鑑賞できる宮島・弥山や尾道・千光寺公園などが思い浮かびます。



さて、今年の花見時期に日本を旅行した中国人客はどのような客層がどういう旅をしたのでしょうか。中国の大手旅行サイトCtripの調査によると、今年3月下旬から4月中旬までの約1ヶ月における訪日旅行者数は昨年より倍増の約35万人、一人当たり平均消費額が5,000~10,000元(約10~20万円)だったようです。

また、個人旅行・フリーツアー客が半数近く、全体の7割が女性客、年齢層は、30~40代が中心で、花見以外に人気なのが買い物・エステ・公演鑑賞という調査結果が出ています。つまり、経済的に比較的余裕のある30~40代の女性たちは日本に行って花見以外に、「買い物をしたい、心も体も美しくなりたい」というニーズを持っています。

桜の次は、紅葉も人気になりうると思います。桜時期は花見ですが、紅葉の時期は、散策やハイキングが好まれるでしょう。上海や北京などの大都市では、自然がないどころか大気汚染が酷く、週末に自然を求める郊外へ小旅行する人が増えています。そして、日本の穏やかな四季も中国人にとっては新鮮なものですし、「花見旅行」同様に「紅葉旅行」も期間限定なところが人気要素を備えています。



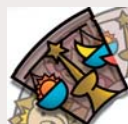
一般的に言えば、中国人観光客のニーズは、都会と地方・田舎の両方を旅行し、買い物・温泉・食事・自然や美しい風景などです。そして、リピーターの増加により個人旅行者が増え、地方都市にも関心が向けられていると同時に、旅行者のニーズも多様化しています。

例えば、観光や買い物だけではなく、「体験」をしたいというニーズ。それは、日本独特の文化を体験、日本でしか出来ない体験などです。他には、ご周知の通り、中国ではきれいな空気や水、美しい自然や四季の風景もなかなか享受できないものですから、そのような自然の中での体験も好まれます。

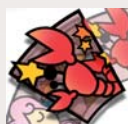
まさに外国人にとって、花見は日本文化の体験です。中国にも桜スポットがありますが、もともと桜を見ながら宴会するという日本のような花見文化はありませんでした。それが、ここ数年でこれほどまでに人気となったのは、ただ単に日本の桜の方がきれいだからというだけではなく、花見をすることで日本文化に触れることができるからなのではないでしょうか。



協広島総合卸センター 囑託  
(前上海事務所 所長)  
蔡 徳 榮



天秤座生まれ 9月23日~10月23日  
リフレッシュを欠かさないことが  
健康維持のポイントに!



蠍 座生まれ 10月24日~11月22日  
具体的な計画を立てるなら今!  
やりたいことを実現しよう。